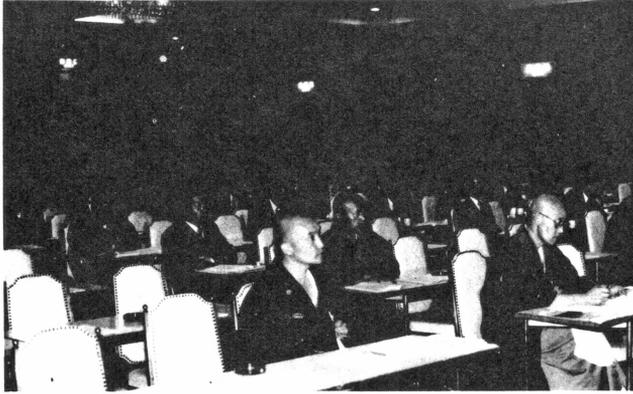


# 全曹青後期禅の集い研修開催

## 東北曹青10周年を祝う

東北大会(宮城県秋保温泉ホテル・ニュー水戸屋にて)



宮城曹青 (我妻耕道 会長) の意気込みは素晴らしい講師の熱弁も加わり、有意義な大会となった。

また、ソフボール大会が今年より全曹青の企画大会となった関係もあり、全国六管区で開かれた曹青の旗のもと、結集した若い力を明日の宗門布教の礎としたい。



挨拶する 我妻耕道大会実行委員長

全曹青の後期禅の集い研修会は会場を宮城県として、十月二十二日二十三日の両日にわたり百八十名の参加を得て盛大に開催した。今回は、東北曹青(菊地祐光会長)の結成十周年記念大会に併せて開催したもので、一層内容の充実した大会となった。

東北六県の団結力の堅さは各大会で充分立証されるところであるが、今会も開催所轄の



発行所  
曹洞宗青年会  
〒105 東京都港区三田  
2-5-2 曹洞宗三田修行内  
発行責任者 高岡隆泰  
TEL.03-454-5431(代)

青年宗侶のエネルギーを結集しよう  
社会的価値ある活動をしよう  
青年宗侶の自覚を促せよう  
地域における活動の連携を深めよう

### 目 次

東北大会.....	2・3
日本における食糧事情の現状と将来 此寺に和尚あり.....	4・5
インタビュー 塚本三郎さん.....	6
日航機墜落事故犠牲者慰霊法要.....	8 7 6



山頂での法要

### 日航機墜落事故犠牲者 現地慰霊法要に参加

全曹青では去る八月十二日の大惨事以後「現地法要は若い我々の任務」として精力的に関係方面と折衝して来た。

幸い、十月二十二日の入山が群馬曹青他に許可され、全曹青として法要に参加することができた。

今回の遺体収集に地元曹青・仏教会が精神的に大き

な役割を果たしていたことは余り知られていない。目を覆いたくなるような状況に遺族を励まし誂経を続けたという。山頂はどこまでも澄んだ青空であったが、眼下の現場に、誰も声を発せられなかった。(詳細 三八ページ)

### 破草鞋

◎曹洞宗ボランティア、タイ、バンコック事務所につとめるスコリーンさん夫妻がこられた。

カンボジア難民への救援活動とタイ農村部への図書館寄贈運動が、どんな流れですめられているか、の現状視察が目的である。

◎山また山、峠、峠をくりぐり抜けたどりついた山寺と付近を見廻して、何とも言えぬ感懐にふけておられた。

「農村といえば、広大な広がり、散在する樹木、遊ぶ水牛という風景になるのだが、さしずめ、タイでいうなら山岳民族ですね。」和尚も周囲の者も笑った。

◎そして、「こんな山の中で東南アジア方面に対する救援活動が行われているのですか。」と、うす高く積まれている救援物資を見、内容、品質を見ては感謝感嘆の言葉と共に、仏心浄心の豊さに想いを寄せられておられる様であった。

◎宗門が産んだ曹洞宗ボランティア会であるが、まだまだ全宗侶間に定着しているとは言えない。人々、人と活動、活動を事務局は鶴首しているとも聞いている。

◎難民を見て、気の毒だが、可愛そうだが、この発想が多い。仏教徒、同行同修の気持ちから、自分が自力で立ち上げるための最少限の救援、に力をおくならば、静かな、しかも力強い歯車が回りはじめるであろう。

◎この活動は対象こそ違え、寺をとりまくすべての在家人に意識するものであろう。

◎「一箇半圓の得得」が仏作仏行を現状に見合う行動で具現してみたいのである。

# 東北曹青

## “東北は一つ”

### 十周年記念宮城大会 全曹青後期禅の集い研修会も開催

東北は一つと、昭和五十年岩手県の正法寺に於いて第一回東北地方集會が開催されてから早や十年。

このたび、「十周年記念曹洞宗青会東北地方集會宮城大会」並びに昭和六十年年度全曹青「後期禅の集い研修会・東北会場」が「研修テーマ」第一「地域に根ざした文化と美談」を挙げて十月二十二・二十三日の両日に亘り開催された。会場は仙台市の郊外保温泉「ホテルニュー水戸屋」であった。各地より参加者百八十五名、来賓二十数名となり、総勢二百人以上の大集會であった。

十月二十一日

**本尊上供** 午後一時の開会では「開会」あるが、午前中から多数が参集し「まだかまだか」の雰囲気であった。各曹青会長を前班に厳肅に開会した。

**基調** 朝日新聞編集委員・高田浩一先生により「現代日本の食糧事情について」と題してお話をいただいた。先生は先進国特にスイス、西ドイツ等のヨーロッパの農業事情について詳しく、「これらの国は工業と農業がうまくかみあひ安定して、自給率五十二パーセントの日本は見習うべきである。」と話された。

**記念** 日本調理師会副会長・小野寺嘉祐先生により「二十一世紀後の食文化」と題してユーモアをまじえた楽しい講演がなされた。この講演では永平寺・総持寺の両本山の協力により一週間の献立発表がなされ、余りにも低いカロリーであると報告があった。

さらに講演では「食の文化はこの八十年に三度変つて、さらに変化して行くであろうか、どう対処するか、日本人にあった食事を考える必要がある。」と述べられた。

**「四象流」** 「梅花の鯉」と名し「庖丁儀式」た庖丁式が小野寺先生により古式にのっとり格調高く執行された。庖丁の動き、刀士の立ち居振舞いすつかり目奪われた。

**質問等**の後には恒例の懇親会。翌日はソフボール大会があつてセーブする会員も多かったが近況報告など親睦を深めた。

十月二十三日

**分科会** 「食」の中の禅思想と二班に分れての分科会を行ない討論内容は全体会で発表されたが、質問を制限する程であつた。

この後吉岡全曹青会長の挨拶があり、全員で協力に挨拶していくことを確認した。

また、曹洞宗ランテニア会有馬事務局長の活動報告があつたが、今後の活動の大きな示唆を含んだものであつた。

**結子** 東北曹青は次期開催に際し、東に給予を託し引き継ぎとしていくが、満場の拍手の中で曹青曹青に手渡された。

**観音** 会場を移しての熱戦ソフボールは福島曹青対宮城曹青の決勝となった。地元宮城曹青は今回の主管曹青でもあり負けられぬところ。結局七対五で宮城曹青が勝ちを得て有終の美を飾つた。

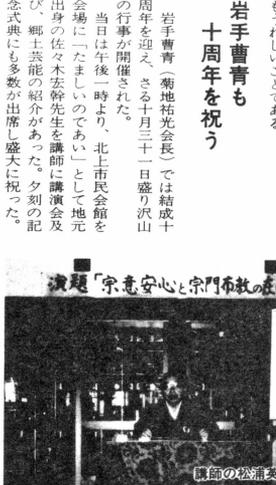
**振り返り** 今回の準備開催に当道会長は、東北大会のみに止まらず、全曹青の「禅の集い」研修会も併せて開催したわけである。当然、内容にも底上げしなければならぬ点や、制限もあつたはずである。今回の会を振り返れば、例年以上に地元曹青委員の動きが目立ち、清々しい印象であつたことが第一に上がる。宮城曹青の奮闘に感謝したい。

また、今年、東北曹青は全曹青の初代会長に統一二人目の会長を送つた。全員でバックアップの体制を確認できたこともうれしいことである。

**岩手曹青も十周年を祝う**

岩手曹青(菊地祐光会長)では結成十周年を迎え、さる十月三十一日盛沢山に行事が開催された。

当日は午後一時より、北上市民会館を会場に「たましいのあい」として地元出身の佐々木宏樹先生を講師に講演会及び「郷土芸能の紹介があつた。夕刻の記念式典にも多数が出席し盛大に祝つた。



## 関東・東海・近畿・中国・九州でも集會

**近畿曹青**

十月三十一日、ソフボールの試合後、日向市の埋文化研究所より、長谷川・増田の講師を招き「京都中世における京都府内の仏教考古学」として講演会を行なつた。特に発掘の面から三寶院墓地について詳しい解説を受けた。

今回の開催所轄は京都曹青、西野正行会長であつた。

**九州曹青**

十一月十六日の広島ソフボール大会に続き、「いすも大会」を開催する。所 鳥根八東郡玉湯町 玉湯温泉 ホテル松の湯

**青年宗侶よ、随聞し来たれ**

秋田曹青 布教講習会を開催

秋田曹青(佐々木道雄会長)では十月二日・三日にわたり、第四回の「随聞会」並びに文化講演会を開催した。会場秋田市(歓喜寺)

今回は元大本山総持寺監院松浦英文老師を講師に迎え、宗意安心と宗門布教のあり方。また、講演会では「心のふれあい」と題して三百余名の聴衆を集めた。「随聞会」は会員優待を対象に開かれ、晩天から四課が行なわれた。

### 速報 熱球を追う

ソフトボール結果

●東北は地元宮城曹青が優勝

山形	1-8	一 賜
山形	15-7	二 賜
宮城	9-2	三 賜
宮城	9-2	四 賜
宮城	7-5	五 賜

●九州リーグ戦第10回は宮崎が制する

10月31日(別府野口グラウンド)	宮崎	5-1	大分
	宮崎	9-3	大分
	宮崎	6-4	大分
	宮崎	15-8	大分
	宮崎	4-2	大分
	宮崎	15-12	大分

●近畿は奈良に栄冠

10月31日(福知山市民グラウンド)	奈良	6	大阪
	奈良	9	大阪
	奈良	11	大阪
	奈良	2	大阪
	奈良	5	大阪
	奈良	3	大阪

●中国は広島(東部)が奪取

11月16日(竜王グラウンド)	広島(東部)	25-9	広島(第一教区)
	広島(東部)	15-4	広島(第一教区)
	広島(東部)	21-10	広島(第一教区)
	広島(東部)	18-15	広島(第一教区)

●関東の栄光は千葉へ

11月15日(小田原市民球場)	千葉	5-4	茨城
	千葉	7-2	茨城
	千葉	11-3	茨城

●東海の覇者は三重

大遠征近畿は決勝延長で涙九チーム、一二〇名が参加	11月14日(愛知 口論義球場)	三重	9	岐阜
		三重	8	岐阜
		三重	10	岐阜
		三重	10	岐阜
		三重	7	岐阜
		三重	5	岐阜

●優勝

6	9
8	11
7	10
8	10
7	10
8	10

●優勝

9	6
4	8
4	14
3	14
4	14
3	14

●優勝

9	6
8	8
10	2
10	2
7	5
8	5

●優勝

9	6
4	8
4	14
3	14
4	14
3	14

●優勝

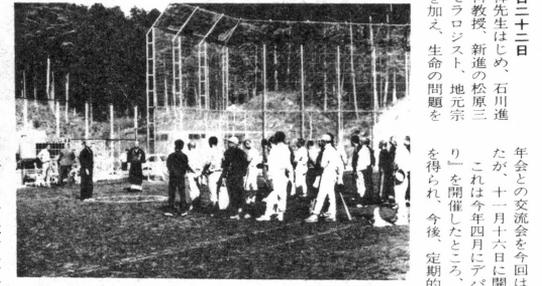
9	6
4	8
4	14
3	14
4	14
3	14

●優勝

9	6
4	8
4	14
3	14
4	14
3	14



十一月二十一日二十二日  
 講師には中野東輝先生はじめ、石川進  
 島根県大脳神経外科教授、新進の松原三  
 朗弁護士、さらにモロロシト、地元宗  
 務所教化主事老師を加え、生命の問題を  
 取り上げる。  
 人口心臓での生  
 命の維持、輸血拒  
 否の問題等を振り  
 問ひ合せ  
 島根第二いずも  
 曹青一伊東充伸会  
 長、大会事務局  
 松江市外中原町  
 法眼寺内  
**東海曹青**  
 十一月十四日ソ  
 フトボール大会開  
 催  
 愛知第一曹青  
 (中島孝雄会長)  
 では、他宗派の曹



静岡第三同志会(今井耀詮会長)  
 年会との交流会を今回は役員だけであつ  
 たが、十一月十六日に開いた。  
 これは今年四月に「花まつ  
 り」を開催したところ、各派からも協力  
 を得られ、今後、定期的な交流を計画し  
 ていたもの。  
 とかく、独善  
 がちな宗派意識  
 ではあるが、脚  
 を開けば同じ宗  
 教人、今後とも協  
 力あることを  
 進めることに  
 なった。  
 さらに、仏教  
 宗派以外にも接  
 触を持ち、神道  
 青年会とはトヨ  
 タ自動車の後援  
 で中国に自動車  
 で行き、映画会  
 コンサートの企  
 画もある。



### 日航機墜落事故犠牲者 現地追善法要を実施して

会長 吉岡 棟憲

八月十二日に発生した日航機墜落事故は、五百二十名犠牲者を出す世界最大の飛行機事故となり、日本中を震撼せました。  
 私たちは次々と報道される惨状を目のあたりにする時、犠牲者に対して心かななる冥福を祈ると共に、一僧侶として慰霊の念を強く感じるものでした。  
 テレビ局から流れる電波や新聞の活字からは、現場における法要の姿は見あらず、山奥深い現地へ赴いて法要できるのは、我々青年僧侶しかないと確信し、全曹青がその任にあたることを決定したのであります。

後日談によれば、現地では遺留品の捜索と復旧作業に重点を置いたのと併せ、一宗教団体の法要を許可すると、たちまち多くの団体が入り込む情況を懸念しての入山拒否とを知らされた。  
 しかし、粘り強い群馬曹青の説得

により、十月二十三日の入山及び法要が許可され、奈良、愛知から随喜下された全曹青会員、並びに群馬曹青、群馬仏青の諸兄と共に、総勢三十五名にて現地に赴き、現地法要の実現となったのです。  
 当日大阪では、日航主催の追善慰霊祭が営まれ、その模様をテレビ・

を切々と感じ、この法供養が犠牲者の霊を慰らめるものと願わずにはいられませんでした。  
 今回の事故において緊急の対応を余儀なくされた群馬県内の行動は素晴らしいものがあつたと聞きまし  
 た。全県民が一丸となって迅速且つ積極的に支援されたという。  
 県仏教会も、昼夜を問わずの回向を続け、万全の協力をなされたこと、全曹青も速やかに行動を起こせる態勢づくりが必要且つ重要であることを痛感いたしました。  
 災害はいつどこに発生するか判らないことを常に心にしておきたいものです。  
 最後に、今法要が意義ある中に修行でございました。群馬曹青の全面的な努力と協力があったからこそと、改めて感謝御礼申し上げます。共に献花・献供のご芳志を賜りました曹洞宗々務所及び九州曹青会に深く感謝の意を表します。



南こうせつさん

南こうせつ  
 花まつりコンサート開催決定！  
 時 昭和六十年四月三日  
 所 静岡県掛川生涯教育センター  
 曹青通信三十八号に登場した「南こうせつさん」のコンサート開催が決つた。来年の花まつりにあわせて開催する。主催は東海曹青で、大きな大会を隔年で開催し今回の所轄が静岡第三同志会である。  
 問い合わせ  
 袋井市堀越七四六一七 海蔵寺



### 実践仏事のすべてをここに集結 曹洞宗実践叢書 全十巻

- この叢書はここが一番知りたい  
 日常生活に必要な事柄をすべて集録しました
- この叢書は法式・禅学・経典・詩偈・仏具  
 葬式辞典の実践仏事から布教まで

■造本・体裁  
 A5判・上製/特織布  
 特染金箔押/貼箱入  
 各巻平均400頁~500頁

■編集  
 曹洞宗実践叢書編纂委員会  
 (発行所) 株式会社 大蔵舎  
 〒424 静岡県清水市橋砂本町17番7号  
 TEL (0543) 64-7834(代)

# レポート ～研修 ■食を考える■ ③

## 食糧事情の現状と将来

朝日新聞社編集委員 高田浩一氏講演から



講演中の高田浩一氏

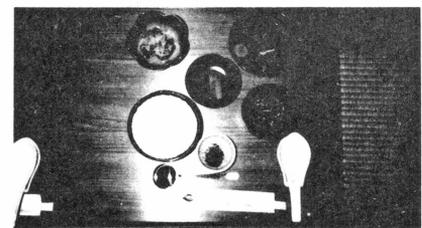
まず、世界の中で日本を見たい。全世界の穀物生産は二十年前、約十億トン。現在は約十七億トンに増加したが、この間、人口も三十億人から四十三億人に増えた。今後、十年間に、人口はさらに増加し、六十億人になるとの予測がある。しかし、耕地は四割程度しか増やせないとの見通し。

最近、話題になったアフリカの飢餓難民との関連でみると、世界の平均では一人当たり三六九キロ。ところが、消費が先進国が多く、発展途上国は極めて少ない。アメリカは一人当たり一年に千キロにのぼるのに対し、アフリカは一六〇キロ。日本を除くアジア諸国も二一〇キロ。日本を一方、日本は三四〇キロとほぼ標準、優等生である。しかし、この裏には、日本は魚食民族であることが計算に入っていない。一年に一千万トンの魚を食べる。このうち、可食部分を五五〇とすると、五五〇万トン。豚肉に換算すると、豚肉一キロを約二〇〇万キロの穀物を食べなければならない。これを人当たりにすると、約二〇〇キロになり、さきさきの三三〇キロに比べ、五四〇キロ。西欧諸国(四七五キロ)を超え、「飽食」の実態が浮き彫りになる。

一人で一年間に穀物消費が三〇〇キロを超えると飢餓感がなくなるといわれる。ところが、アフリカ難民はある調査によると、ケニアで一六一キロ、中央アフリカで四五キロという状態。

### 食生活の洋風化

わが国では「飽食の時代」であるが、食生活の内容が変わってきた。この二五年間に「コメばなれ」が進み、昭和三十七年(一人で年間一八八キロ)食べた(一人で年間一七五・七キロ)しかたべない。三五%も減っている。これに對して、欧米と同じような肉類に、乳類が増大。二五年間に、肉類は四・八倍、牛乳、乳製品



多くの人を経た食事

### 畜産でいびつな豚、鶏の増大化

これだけ自給率が低下したのは、何と云っても、飼料穀物の輸入が急増したことにある。最近二五年間で、二四四万トンから、二、四〇〇万トンと十倍も増えた。

この結果は、輸入のウエザで飼いやすい豚や鶏を増加させた。家畜単位(背牛一頭、豚六頭、鶏一〇羽)で計算した家畜の構成をみると、豚、鶏の「中小家畜」が、わが国では六六・四%を占める。米国は中小家畜が九・五%、西独でも二五%にすぎない。わが国でも、二五年間には中小家畜は三七%にとどまっていた。それが現在は、逆転している。

これに、簡単な畜産を急いだからである。穀物の家畜化率は、ニワ

トリは一トンのフイラーをつくるのに、二倍の穀物ですむ。豚や鶏卵は四倍、牛は七・八倍のトウモロコシが必要だ。だから、なるべく、効率のよいものを求めなければならぬ。他方、草食動物の牛がウエイトを下げ、生態系をうえて、自然の循環機能の活用を妨げていることになる。

▼他国の食糧政策  
二カ月前、食用油十二カ分といつた具合、今準備する必要は、四十分は小量の場合、年間必要量の四分の

## 我が曹青を語る

岐阜県曹青年会 会長 雲山文夫



今年の特曹青総会には、岐阜の山奥から車を出かけた。普通なら新幹線一杯で、今年ばかりの気楽な上京なのだろうが、今年ばかりの荷物を持つての使命を帯びた総会参加であつた。

宗務所に着くや総会場の廊下に机を置き、窓ガラスに宣伝の紙を張りつけての店開きであつた。

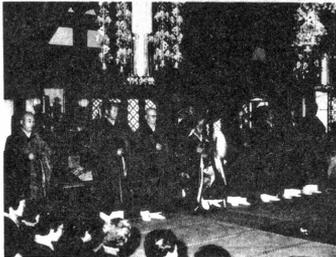
誰でもわかる進退朱書き  
○ 歓迎 〇 謝 〇 謝  
手約も受け付めます  
岐阜県曹青年会

百冊入りのダンボールを二箱持ち込んで会員諸氏に直接取り込もうとの胆胆である。という目的は各県曹青に大量買ひの予約付けが本命であつた。

「岐阜県商売がうまくないなあ」なんて言われながらも、予想外に売れ驚くほどの予約もいただいた。まことにありがたいことである。

この講演、一昨年岐阜県曹青年会が

## 「禅の集いの参加者? 700人です」



法談会にて

主催した法談会の記念行事として作成したものである。現職研修を兼ねての法談会を計画準備して行く中で、歎仏講本に進退を書き入れた作業に入つた所、いろいろのこと統進退を印刷しようとの発想となり作成、随喜院への記念品として印刷して配布した。作成以来、大変好評を得る県内はもちろんで外からも問い合わせがあり、当初印刷分がたたくまに無くなってしまい、追加五百部を増刷して刷り上がったばかりの二百冊を総会に持ち込んだもの。

岐阜県では県下各地にそれぞれ曹青年会組織があり、その連合体として岐阜曹青が統一され一本化したのは昭和五十一年秋の事である。

翌年、ボロボロ視察参拝団を派遣し、その翌春三月、岐阜県では県内をグループに分け、各グループより理事を選出、理事会を組織しているが、隔月の理事会も、二年任期の会長、事務局も、プロックの持ち回りが定着している為全県のまとまりがよい。

岐阜県では県内をグループに分け、各グループより理事を選出、理事会を組織しているが、隔月の理事会も、二年任期の会長、事務局も、プロックの持ち回りが定着している為全県のまとまりがよい。

- 法談会にて
- 「役員紹介」
- 会長 雲山文夫 (中濃B)
  - 副会長 岩水龍峰 (岐阜A)
  - 同 久翁寮方 (東濃B)
  - 同 亀山浩運 (飛騨B)
  - 事務局 高橋定申 (中濃B)
  - 庶務 紀藤昌行 (中濃B)
  - 会計 岩田大仙 (中濃B)
  - 監査 杉崎良憲 (飛騨B)
  - 顧問 不破孝道 (岐阜B)
  - 同 大森旭道 (飛騨B)

すすめ、三分の二の家庭が指示を守っている。このほか、西ドイツでは「土地なし畜産」をなくすため、土地放棄を維持するといふ色合いが強い。

かえりみて、わが国の場合は、こんな政策がなく、価格政策で生産を維持するといふ色合いが強い。

全曹青 後期禅の集

日本における

わが国の食料自給率は、一九六〇年（昭和三十五年）には七九%だったのに、七〇年には五八%。そして現在は五二%に落ちている。

供給量（一、五九三キロカロリーのうち、一、三六一キロカロリーのうち）が自前で、まかなっていない。安静時の最低必要量が、一四五〇キロカロリーの昭和二十年代後半の水準が二千キロカロリーのだから、食料の安全確保上は「お寒い」現状にある。

これに対し、先進工業国である欧米諸国は自給率が、むしろ、上がっている。英国は七〇年には四九%と日本より低かったのに現在は六〇%、西ドイツも七〇年の六六%から七五%に向上。米国一三三%、フランス一一九%は輸出の余力が十分。

研修

詩偈と禅

山口晴通

①

中国五千年の長い歴史において、各方面の文化が時代とともに、絢爛豪華に咲き誇ったのであるが、なかでも漢詩の分野は、非常に高い評価をけて現代におよんでいる。

わけても、王維、李白、杜甫、白居易、杜牧等ももって尊敬されている。

あとも、こうした唐詩の隆盛期、禅門においても六祖慧能より青原行思、石頭希遷、あるいは馬祖道一、百丈懷海へと文字通り五宗を繁茂させている。

このように、中国文学の華である漢詩



菩提本無樹 菩提もまた非ず  
明鏡亦非台 明鏡もまた台に非ず

と、禅門の興隆期が、期せずして時を同じくしたことは、両者にとって、まことに幸いなことであらう。

中国の文人や政治家は、仏教、ことに禅に接することによって、幽玄なる世界を漢詩に投影し、他方、禅門の宗匠は言詮不及の宗旨を拈提する時に、また、会下の門弟は、自己の実践的境地を披瀝するのに、詩偈の形を採用しているのである。

歴史的な信憑性ともかくとして、五祖弘忍の会下における、神秀上座と慧能大師の投機は、一つの凡例をなすものである。

神秀

身是菩提樹 心は明鏡台のごとし  
時時勤拭く 塵埃を有らじむる

慧能

菩提本無樹 明鏡もまた非ず  
何處有塵埃 何れの処にか

それは具体的に、どのようにすれば作詩偈が可能なのであろうか。

まず、なるべく多くの漢詩を読むことである。古人の作である現代人の作であるとの区別は、漢詩を読むことなしに、いきなり作詩を志すことは土台も築くことなしに、高層ビルを建築せんとするのと同様である。

我々は有限な力が故に作詩をするのではない。生死事大無常迅速のなかにあつて、宗意安心としての各種の香語を作成するのが究極の目的である。

目標が高ければ高いほど、土台はしっかりと築かねばならない。書店に行けば、あらゆる種類の漢詩の本が陳列されている。唐詩、宋詩等の総集のものあれば、熱心な仏教信者であった、王維、白居易、蘇東坡等の、別集もある。菅原道真をはじめとして、五山の僧侶による日本漢詩等も沢山残されている。幸い、こうした漢詩を勉強するのに資料不足などということはない。各自の好みに応じて、少しでも読解することを心掛けてもらいたい。

同時に、宗門人であるならば「大智度論」をはじめとして、正統の「曹洞宗



手を合わせても食べられないかも

▼「コメばなれ」進み、減反に  
現在、国内の水田で、米を作る生産力は、一、三七五万トンあるところ。国民は一年に、一、〇五〇万トン前後しか食べない。このため、生産調整（いわゆる減反）が十五年前から実施されている。いまでは、年間二九〇万トンの生産力を、他の作物に転作。その所得補償の転作奨励金が年間約三千億円、国庫から出される。

▼国際的には、高い米価  
耕作規模は一ヘクタール弱。経費を差し引いた所得は九万日前後。「これで食うていけない」との声が強く、生産量の約半分は、他産物からの収入が多い第一種兼業農家が担う。

他方、国際的にみると、日本の米価は国際価格の五、六倍。食糧制で、米だけが保護されて来た反映でもある。米は日本農業の柱。農業生産額の中で、二十五年前は五〇%、いまでも三〇%を占め、トップにある。

我が国の現状

の明治維新前に、現在の水路の七〇%はため池の五〇%は整備されていた。日本の水田は、一ヘクタール当たりの水路が一五メートル。東南アジアは五〇メートル以上のところが、三〇%あるかないかの段階。

▼狭い耕地、ゆとりがない利用  
国民一人の農用地は、おが国は、〇・〇五ヘクタール。これに対し、米国は四十倍（二ヘクタール）、イギリスは六倍、西ドイツ四倍。また、生産者一人当たりにみると、米国は一五七ヘクタールと、一四〇倍もあるほか、西ドイツ一四倍、イギリス六〇倍。

さらに、これら諸国では、農用地のうち、採草、放牧地が多く含まれ、イギリスでは穀物生産の「耕地」は三分の一、あとは草地だが万一の場合、草地を耕地に転換できる余力がある。米国も耕地を倍増できる。ところが、日本はほぼ目いっぱい耕地にしている。

▼農業労働力の問題  
農業就業人口は、昭和三十五年に一、四五四万人だったが、現在では六四〇万人。六割減少。それでも先進諸国に比較しており、全就業人口の八・五%を占め、米国の三%、西ドイツの四%、イギリスの二・五%より、はるかに高い。

現在は、新規学卒の就農者は約五千。四十年には四万人だった。いまでは、トヨタや医師の卵より少ない。他方、高令化が進み、六十歳以上の年寄りが七〇%を占める（二十五年前は一七・五%）。以上お話ししてきた、日本の現状を理解していただけたと思う。今後の農業政策は適切にすめなければならぬ。



子どもたちに豊かな未来を

今更九回に亘り「詩偈」のお話をお願ひしました。作詩偈の入門として漢詩を勉強するのに資料不足などということはない。各自の好みに応じて、少しでも読解することを心掛けてもらいたい。

同時に、宗門人であるならば「大智度論」をはじめとして、正統の「曹洞宗



# 散步道

民社党中央執行委員長  
塚本 三郎さん

## 「体験する悟りだから、妙、なのです」

政治は難解を通じて人々の幸せをはかる。宗教は個々の救いから人間としての幸せを導く。方向と立場は違っても、人間の幸せを導くことは共通する。政教の委員ではあるが、塚本三郎氏は仏典に関する豊富な知識と、政教と宗教相容れたい点も書かれたお話をうかがった。

委員長さんの演説にはよく仏典からの引用がありますね。

私は法華経が好きで、よく勉強しました。特に常不輕菩薩の話や、釈尊の娑婆に対する慈悲深さなどに感銘しました。それ思わず、演説に出てしまってます。皆さんよく聞いて下さいませ。お坊さんが話し下さいませ。(笑)



なる為の道具です。道具を使う心は正しくなければなりません。宗教はそんな心を作るのです。

宗教政治は一致ですか。

政治は船のようなものです。政治家は船頭です。乗っている人が横を見ていても安全目的地に着かねばなりません。船の中では色々なことが起りますから、私は党の指導者となりましたが、素直に

船頭は素直で、冷静で、純粋な慈悲の心と勇氣と決断を持って運営に当るのです。そして乗っている人に船頭の考えを理解してもらわねばなりません。その為には個人にも正しい考えが必要です。そこに宗教があると思っています。

委員長さんになられますと、組織ということも考えられると思いませんか。

組織の運営はこうでなければというのではないです。政治家として国民の為に、もつとも自信のある行動を取っている大衆がついてきます。すると仲間がそれを見て、まねてくれるようになるのです。私は党の指導者となりましたが、素直に

党の為にと思っただけで来たわけなんです。皆さんと同じですね。檀家の方々が喜んで信仰してくれるような活動をしていると信頼も生まれると思います。素直に実践していくことが一番です。

委員長さんの書かれた仏典の紹介もありますが、僧侶に対する要請は？

妙法はいろいろ「妙」は体験した者が分かるから妙なんです。「法は万人に通じるから法なんです。私は法華経を勉強させていだけき教えを実践してきます。困った人を助ける。すると不思議に他から私に助けられるのです。私にとって「妙」ですね。そして誰が実践してもこうなるのですから法なんです。皆さんは「妙」を体験し、そして話して欲しいです。

寺院といえ、静かなところ、法事をすると、老人の世界、過ぎ去った遺物の世界と見られます。しかし、かつては政治、教育、生活の中心でした。政治はともかく、教育……しかも心の教育ですね。それは現代もとも不足していかぬ、どうしても必要なんです。科学、文化、使っている人なんですから、経典には素晴らしい教えがあります。寺院、心の教育をして欲しいですね。まず人を集めることをして下さい。

忙しいんです。インタビューを申し込め、面会は朝の七時、それでも駆けつけるるついでに書面送。電話もなっている。代議士さんにも二、三人。

宗教心の良薬、僧侶は良医。寺院は経典を処方箋として精神の世界では何音にも劣らぬ權威と実績の殿堂であられる。

### 2年半たった

### 仏教テレフォン相談



仏教情報センター  
（藤木隆昌代表が）  
「仏教テレフォン相談室」を開設して二

年半が経過した。スタート当初より、予想をはるかに上回る反響を呼び、現在も午前十時から午後四時までの受け付け時間中に一日四十五件の相談が寄せられている。中には、遠く北海道や九州などからの電話も珍しくない。

深刻化する心の不安や混乱する世相、現代人の尽きない悩みに応えるため、各宗の有志僧侶五十五名が交代で、電話の対応に当たっている。

内容を見ると仏事・お布施・墓・法要・永代供養などに関する相談が最も多いが、全体的には減少の傾向にあり、二年目では41%増えたのが信仰相談（水子・改宗・タタリ出家など）と人生相談（離婚・不和・自殺・人間関係など）、前者は21%、後者は17%、その他（仏教一般・経典・宗派・仏像など）が9%、情報

（仏教書・道場講座などの案内も9%）となっており、相談者の八割は女性で、しかも四十才前後が最も多い。

分析の結果を考察してみると、一、家の宗派やまつり方、意味等ほとんど理解していない。菩提寺に聞きにくいのは対話や説明不足のためか、それとも教養が高いのか。

二、お墓や法要に関する相談の中で、家族制度の崩壊が問題の根底にある場合が多い。家族間の不和や、核家族の祭祀相続の悩みである。また、四十才前後の女性に悩みが多いというのも、姑から嫁に習慣や知識が継承されていないという、世代間の断絶の現れといえる。

## 現世の悩みと不安さまざま

仏教情報センター

(〒113 東京都文京区白山1-17-5 日産ビル) TEL03(813)6577

三、件数では以前と比べて所用時間とみると人生相談が全体の三分の一を占める。現代人の心の不安、孤独の一人間関係が浮彫りにされる。

四、不安がずたずた、人間関係の相談が多。中でも水子供養についてが際立って多い。こうした霊障俗信の悩みも、悔からというよりも、宗教に現世利益（？）を求める心の裏返しといえるものが目立つ。

五、信仰相談で次が多いのが、新興宗教がからむトラブルである。付き合い等で入信し、結婚、寄附、会員集め、家族関係、供養の仕方などの違い、やめる時の人間関係、パチンコなどで悩むケース。

六、色々な所を経て、最後は信仰による解決をという真剣な相談もある。安易な姿勢は許されず、積極的に対応していく努力が仏教者に求められる。

仏教情報センターではこれらの点から継続的なフォローアップは勿論のこと、相談員間の研修や「仏教ライフ・サークル」等によるワークショップにも一層力を尽している。

また、かねてからの念願であった社団法人化のための準備も九月より開始し、あわせて各主要都市での「仏教テレフォン相談室」の開設も進んでいる。切に各位のご協力とご支援をお願いしたい。

講談社刊の「仏教テレフォン相談」はこうした活動と状況をより具体的にご理解いただくためにも、また、僧侶・信徒への対応の参考としても是非ご覧いただきたい。

(○)

# 日航機墜落事故犠牲者

## 慰霊法要

去る十月二十二日、群馬県上野村御巣鷹山に墜落した日航機501機の追悼慰霊法要が、群馬曹青を中心に全国から三十五名が集結して現地で行われた。

群馬曹青では早く、現地法要を計画し、各関係者に精力的に当たって来たが、入山許可を得るまでには至らなかった。その中で実際にボランティアとして捜索活動に、遺族の法要にと協力し遺体を目の当りにした群馬曹青、群馬曹青に初めて登頂が認められた。さつき合同の法要を申し込み、随言曹青と、十月二十二日の法要が行われた。全国の曹青各団は先方に連絡する時間もなく、かつたことを了承した。

十月二十二日 吉岡会長以下藤岡市の光徳寺に集合する。住職の竹文成師は群馬曹青会長として今回の活動の最前線を受け持たれた方。

いつの間にか二十名以上集まっている。息が白い。

心経を読んで出発。準備をしていると、地元曹青が本堂の隅に招き寄せている。そこにはまだ引き取り手のない遺骨が箱に入っている。



登山入口の卒塔婆

### 投稿

ある日のカララジオ  
愛知県 別府良孝

十月十四日の午後、名古屋市中区の曹青を訪問すべく車を走らせていた。この日、徳島市で全日本仏教大会が開催され、科学技術の進歩と共に薄れつつある信仰心、いかに回復させるかをテーマに、熱のこもった議論が展開された。

いう返事、先が思いやられる。登山入口に何本もの卒塔婆が立っている。ここでも心経を読む。始めの道はかつて木材を運んだというトロッコの軌道跡を登る。朽かかけた枕木は濡れてすべり、レールが時折、足に触れる。この道を何百もの自衛隊員が歩いたかと思うと自然に力が湧いて来る。吉岡会長と奈良の会長が現地を立てる。角塔婆をついてい。肩に食い込むことよりも、足もどが心配である。午後十時四十分 途中三十分歩いて十



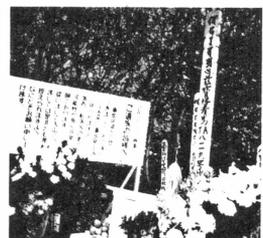
急な斜面を登り切ると目の前に新しい山肌が見えた。中央がくつきり飛行機の胴体と主翼の形で変色している。あれが現場。

分二十分歩いて十分と休憩した。美しい谷間の清水。大滝もあってしばし時を忘れる。この奥で大惨事があったとはとても思えない。月面に新しい急な斜面を登り切ると目の前に新しい山肌が見えた。中央がくつきり飛行機の胴体と主翼の形で変色している。あれが現場。

午前十一時 これが最期の休憩と念をおされる。足が痛くなってきて、一人であんなにも引寄せられている。途中で何度も遺族が置いたのだろうか。途中心を歩いている。残念ながら、一部の曹青の反社会的な行為(暴行、吸煙、部師をケンに使うの詐欺、殺人のための脱税、など)こそが、衆生の寺離れの原因であろう。宗旨戒の秋である。

### 投稿を歓迎します。

この機関紙は皆んなの意見を紹介いたします。宗門のこと、社会のこと、私達のまわりには書ききれないことが沢山あります。明日の宗門のために建設的な意見をお持ちいただけます。宛先は宗務庁全曹青係です。



結れた花束がいくつもあつた。また、悲しみを込めたように横まれた石も見た。山頂に近づくにつれ急な斜面が続く。木は全て切られている。殺風景の上に見える。自衛隊の臨時官舎が見える。右手に墜落現場を見ながら頂上を目指す。十一時十分 到着。小さな困いの中に沢山の供物。何を祈ったのだろうか。千羽鶴も見え、真新しいパーレールに(弟よ、父と共に永遠に眠れ)と記されている。涙が込みあげて来る。ここで、この小学校の運動場らしい場所でも五百人以上の人が亡くなったのだ。全員集合して法要、合掌が震え震えるように。

「あの峰を超えてここに落ちたのですね。遺体満足なものはありませんでした。拝ませてください。私達はどうぞもここにまた来たかったです。」

山は静まりかたつた。紅葉の美しさが空しく、悲しみだけが残っている。現るを見つめる。誰も声を発しない。合掌する影だけが長い。

### 事務局だより

#### 理事會・評議員會

#### 合同會議を開催

全曹青の六十年後期及び、六十一年度事業計画に大きな影響をもち理事會・評議員會を開催いたします。

今回は理事會、評議員會を合同開催して各曹青からの直接の意見を伺うことにしています。もとより、評議員會提出議案については理事會の審議が加わります。この点も踏まえて開催いたします。

また、議案として年々支出の増加しています。旅費について、支出減の方で旅費規定案を提出いたします。

#### 提出案件

- 十一月二十七日、二十八日 所 曹青宗務庁
- 事務局経過報告
- 各委員を経過報告
- 全曹青旅費規定(案)について
- その他

#### 団体加入状況

曹青通信三十九号で加入十四団体名を掲載しましたが、その後次の単位曹青が加入いたしました。

青森曹青 山形第一曹青 宮城曹青 千葉曹青 静岡第三曹青 静岡第四曹青 愛知第一曹青 愛知第三曹青 三重曹青 島根第一曹青 高崎曹青

(名称は宗務庁所定としました。)

十月三十日現在 二十五団体加盟です。

#### 各地の會

- 全日仏曹青會
- 広報委員会
- 秋田曹青大会
- 日航機墜落法要の集い研修
- 近畿曹青大会
- 東海曹青後期神集の集い
- 岩手曹青大会
- 曹青曹青大会
- 関東大会
- 中国曹青大会(ソフ)
- 中国曹青大会
- 神奈川曹青十周年大会

## 流し燈籠

水に溶け、無毒・無害で汚染なし!!

◆ 特長 ◆

- 流し燈籠の素材は、すべて水に溶解します。
- 約30分～1時間位水面に浮き、その後3時間程度で完全に溶解します。
- 無毒・無害であり、溶解後も河川を汚染しません。
- 回収の必要がまったくありません。

新しい「水溶性流し燈籠」の登場により、美しい心に残っている風習「燈籠流し」が、復活いたしました。

1基 980円(1箱25基入り)  
数量により指定文字の印刷も承ります。  
\*本品は限定商品ですので、お早めにお申し込み下さい。

株式会社 光和  〒251 神奈川県藤沢市辻堂元町2-20-17  
TEL 0466(33)6301(代表)  
(36)4111(直通)